



# 【NEZU システム通信】

(Vol.0014)

発行日 07.6.4

## ごあいさつ

日頃は根津グループとお取引頂きまして、誠にありがとうございます。  
今回のNEZUシステム通信は、シンククライアントシステムについてお届けします。

## シンククライアントシステムとは

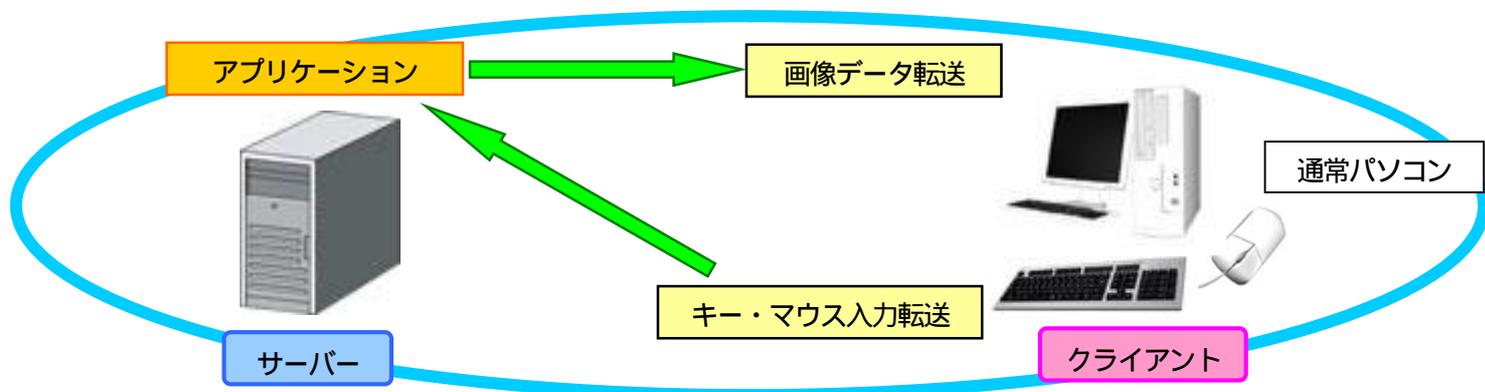
シンククライアントは、ネットワーク機能と必要最低限なソフトウェアを搭載しただけの低価格のパソコンとして10年ほど前に開発されました。シンククライアントシステムはクライアント側(端末側パソコン)にOS(Windows Vista や Windows XP 等)やハードディスク、アプリケーション(ワープロソフトや表計算ソフトなど)等が構成されていないとしても、サーバー側にOSやハードディスク、アプリケーション等が搭載されていることによって利用が可能となります。クライアント側では表示機能や入力機能等のみで稼働し、クライアント情報やデータ等はサーバー側で管理をしますので、情報漏洩防止にも有効です。発売当初は投資評価の判断がし難く市場が伸びませんでした。近年は情報漏洩防止や処理速度向上に役立つことに注目され、市場を伸ばしています。

## シンククライアントのタイプ

シンククライアントシステムのタイプは様々です。以下に、代表的なシステム方式を説明します。

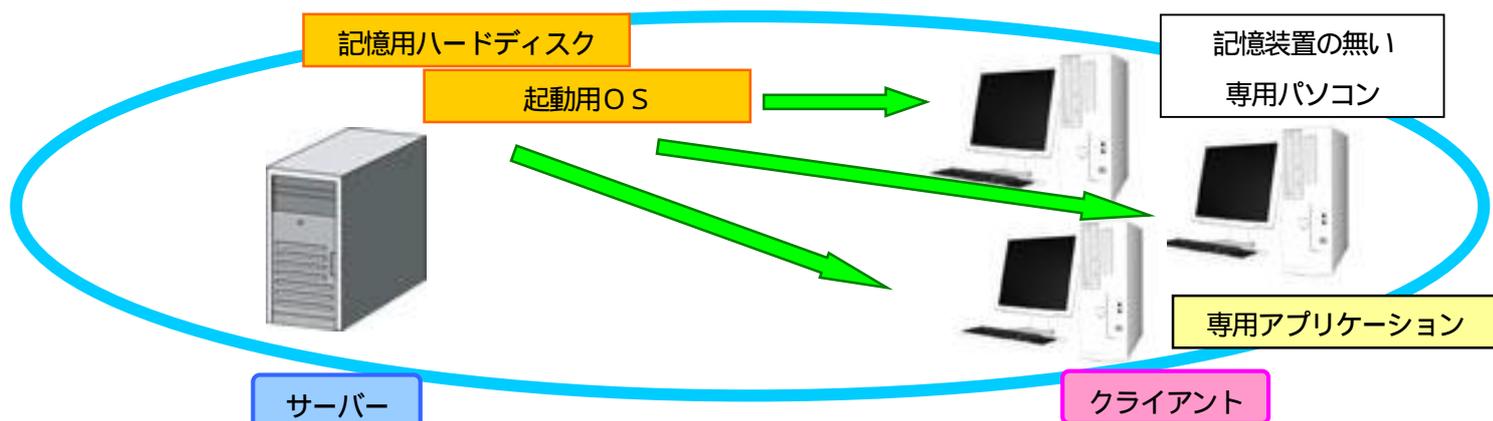
### サーバーベース型(画面転送型)

アプリケーションは全てサーバー側で動作し、その結果の画面情報のみがシンククライアントパソコンに転送され表示されます。従ってクライアントパソコンとサーバー間のやり取りは、画像データとキーボードやマウスの入力情報のみとなります。



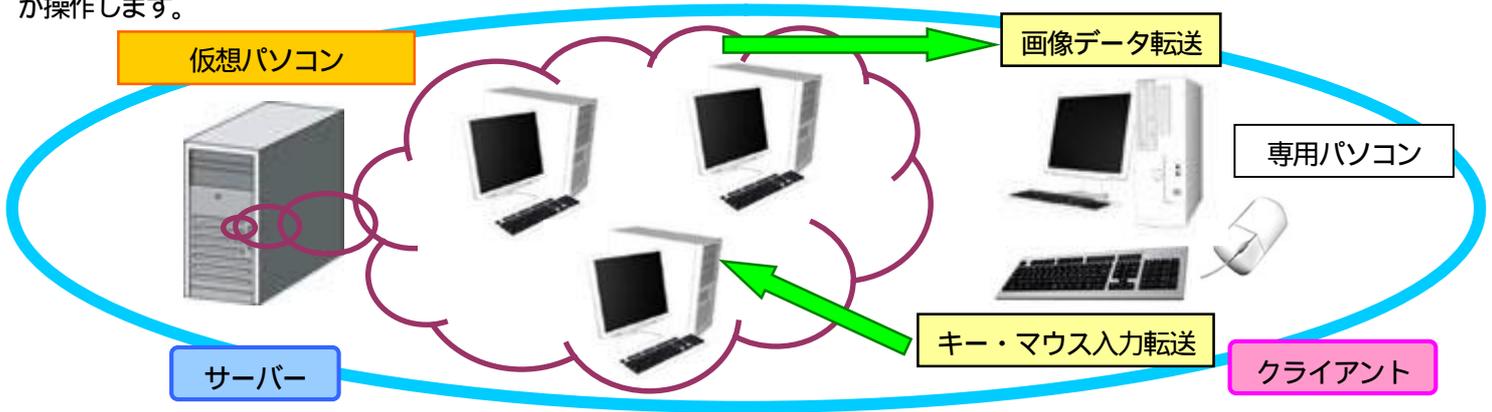
### ネットワークブート型

クライアントパソコンのハードディスクのみを管理サーバーに集約したもので、サーバー側にOSイメージを置いておき、ネットワーク経由でOSを起動させます。実際のアプリケーションの処理はクライアントパソコン側で行います。



## 仮想パソコン型

転送画面型と似ていますが、画面転送型は個々のアプリケーションがネットワークを通じてクライアントパソコンとやり取りをする仕組みですが、仮想パソコン型はサーバーの中に仮想的にパソコンを作り出し、全ての操作をクライアントパソコンが操作します。



## シンクライアントシステムの効果と注意点

### メリット

クライアントパソコンにクライアント情報やデータを保存しないことから、情報漏洩のリスクを回避することが可能で、個人情報保護法の対応策にもなります。またクライアントパソコンにはハードディスクやCD-ROM等が無いので管理コストの低減やデータの持ち出しの防止が可能です。

### 注意点

管理サーバーは、全てのデータが管理サーバーに一元管理されるので、今まで以上の厳重なセキュリティ対策が必要となります。また、管理サーバーが故障した場合に対処する為の予備管理サーバーが必要になります。さらにネットワークを利用する環境となる為、機器の利用の制約や高速なネットワーク環境が必要となります。

## 情報漏洩対策に適したシステム

開発された当初は、シンクライアントは低価格パソコンの一形態として発想されました。しかし、最近になって情報漏洩対策を中心としたセキュリティの強化に最適な仕組みとして市場も拡大し始めており、注目が集まっています。

### 編集後記

こんにちは、情報システム事業部の添田です。朝晩の涼しさが、初夏を感じさせる季節になりましたね。

最近読んだ本の中で、とても印象に残った内容です。「ボタンをテーブルの上に立ててください。」と言うと、ほとんどの人が立てることができない。しかし、「ボタンをテーブルの上に立てて糸を通してください。」と言うと、半分以上の人が立てることができるという。ポイントは、ボタンを立てることの先に「糸を通す」と言う目標があるかどうかの違いだ。ここから学べるのは、高い目標を設定すれば、それだけ多くの能力を発揮できるということである。

新・自分を磨く方法 著:スティービー・クレオ・ダービック 一部抜粋

目から鱗が落ちる思いでした。新年には個人の目標を立て、仕事では新しい年度や新期に目標を立てますが、あまりにも高過ぎる目標は危険ですが、ある程度の目標を設定することで力が発揮できるものなのだと思います。新年度が始まって既に2ヶ月が経ってしまいましたが、自分の目標を見直し、目標達成に向けて頑張ってみようと思います。

情報システム事業部に服部温子(出身地:兵庫県)が仲間入りしました。よろしくお願ひ致します。



添田 佐知代 服部 温子(新人)

発行: 根津鋼材 株式会社

住所: 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里2-2-3 (TEL)03-3805-5555

メール: [hp\\_master@nezu-g.co.jp](mailto:hp_master@nezu-g.co.jp) ホームページ: <http://www.nezu-g.co.jp/>

発行人: 根津訓光 / 監修 樋口良成 / 編集長

編集: 情報システム事業部

NEZU システム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願ひます。

このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様にのみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが [hp\\_master@nezu-g.co.jp](mailto:hp_master@nezu-g.co.jp) までご連絡ください。その際には、御社名、御社(配信先)メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願ひ致します。